

JICA海外援助関係者の 赴任国での勤務・生活についてのアンケート調査票

調査の趣旨

本調査は、一橋大学を拠点とするニーズ対応型地域研究推進事業「アジアのなかの中東」(<http://wakame.econ.hit-u.ac.jp/~areastd/index.htm>)の一環として、中東地域の社会と最も身近に接し援助のためにご活躍している日本人の方々を対象に、赴任先である中東諸国に対するイメージを明らかにすることを目的にした学術調査です。趣旨をご理解いただき、以下の質問項目にご回答くださいますようお願い申し上げます。
ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理しますので、個別の情報が対外的に公表されることはありません。もちろん、頂いた本アンケート調査票も、責任を持って厳格に管理いたします。

本アンケート調査票の構成は以下のとおりです。

- | | |
|----------|--|
| I 日常生活 | [A] 生活環境
[B] 日常生活一般への適応状況
[C] 社会習慣・宗教 |
| II 職場体験 | [A] 勤務状況
[B] 開発援助の成果
[C] 赴任国の政治・社会・経済
[D] 今後の開発事業 |
| III 基本情報 | (回答者経歴) |

- * 本調査は、ご本人様にご記入くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- * 回答は白い回答欄にご記入ください。選択式の場合は番号をご記入ください。

ニーズ対応型地域研究推進事業「アジアのなかの中東」

代表・管理責任者 一橋大学・大学院経済学研究科教授 加藤博

問合せ先（担当：木村）

電子メール：needs@econ.hit-u.ac.jp

問い合わせ用電話・ファクス 042-580-9113

I. 日常生活

[A] 生活環境

Q101	住居形態： 1. 一戸建て 2. アパート・フラット 3. ホテル住まい 4. その他（ご記入ください）						
Q102	居住地区： 1. 高級住宅街 2. 中流住宅街 3. 庶民地区 4. その他（ご記入ください）						
Q103	（日本人以外の）現地の人々との近所付き合い： 1. 非常に頻繁にある 2. 頻繁にある 3. 時々ある 4. 全然ない						
Q104	使用人（通いを含む）：						
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>Q105</td> </tr> <tr> <td>1. 有</td> <td>2. 無</td> <td>1. 現地の国籍 2. その他の国籍（ご記入ください）</td> </tr> </table>			Q105	1. 有	2. 無
		Q105					
1. 有	2. 無	1. 現地の国籍 2. その他の国籍（ご記入ください）					
1	お手伝いさん						
2	運転手さん						
3	その他（ご記入ください）						
Q106	日常生活での使用言語：						
	使用言語	<table border="1"> <tr> <td>1. 非常に頻繁に使う</td> <td>2. 頻繁に使う</td> </tr> <tr> <td>3. 時々使う</td> <td>4. ごく稀に使う</td> </tr> <tr> <td>5. 使わない</td> <td></td> </tr> </table>	1. 非常に頻繁に使う	2. 頻繁に使う	3. 時々使う	4. ごく稀に使う	5. 使わない
1. 非常に頻繁に使う	2. 頻繁に使う						
3. 時々使う	4. ごく稀に使う						
5. 使わない							
1	英語						
2	フランス語						
3	現地語（アラビア語・トルコ語・ペルシャ語等）						
4	その他（日本語以外の言語）						
Q107	任地での情報入手方法						
		<table border="1"> <tr> <td>1. 非常に頻繁に使う</td> <td>2. 頻繁に使う</td> </tr> <tr> <td>3. 時々使う</td> <td>4. ごく稀に使う</td> </tr> <tr> <td>5. 使わない</td> <td></td> </tr> </table>	1. 非常に頻繁に使う	2. 頻繁に使う	3. 時々使う	4. ごく稀に使う	5. 使わない
1. 非常に頻繁に使う	2. 頻繁に使う						
3. 時々使う	4. ごく稀に使う						
5. 使わない							
1	現地の新聞・雑誌						
2	外国の新聞・雑誌						
3	テレビ（地上波）						
4	テレビ（衛星）						
5	インターネット						
6	その他						

[B] 日常生活一般への適応状況

Q108	日本を離れる前に任地での日常生活に不安や心配はありましたか？ 1. 大いにあった 2. あった 3. あまりなかった 4. 全然なかった			
Q109	どのような点が不安でしたか？ (複数回答可、自由回答) 1. 治安 2. 家族の異文化適応(言語等) 3. 子供の教育 4. 健康医療面 5. 人間関係 6. その他 (ご記入ください)			
Q110	任地での日常生活には適応できましたか？ 1. 非常に容易 2. 容易 3. やや困難 4. かなり困難 5. まだ不明			
Q111	ほぼ適応するのに要した期間はどのくらいでしたか？ 1. 1ヶ月以内 2. 3ヶ月程度 3. 半年程度 4. 1年程度 5. 1年以上			
Q112	適応が難しかった点は、特にどんなことについてでしたか？ (複数回答可、自由回答) 1. 言語 2. 居住環境(生活インフラ) 3. 食生活 4. 交通手段 5. 習慣の違い 6. 気候 7. 対人関係 8. 情報・娯楽(新聞・テレビ) 9. 生活リズム 10. その他(ご記入ください)			
Q113	任地での生活は、全体として楽しいものですか？ 1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 全然思わない 5. どちらともいえない			
Q114	現地での生活においてトラブルや事故に巻き込まれたことはありますか？			
		Q115		
		1. ある 2. ない	どのように解決しましたか？(複数回答可) 1. 警察 2. 大使館 3. JICAを通して 4. カウンターパートを通して 5. 現地の知り合いを通して 6. その他(ご記入ください)	
	1	交通事故		
	2	盗難		
	3	家主とのトラブル		
	4	使用人とのトラブル		
5	金銭のトラブル			
6	その他(ご記入ください)			

[C] 社会習慣・宗教

Q116	日本を離れる前に任地に対してどのような印象をおもちでしたか？ 1. 大変良い 2. 良い 3. 悪い 4. 大変悪い 5. どちらともいえない	
Q117	赴任後に現地社会に対する印象は変わりましたか？ 1. 大変良くなった 2. 良くなった 3. 悪くなった 4. 大変悪くなった 5. 変わらない	
Q118	なぜ印象が変わりましたか？（自由回答）	
Q119	日常生活において現地の人々と交流する際、相手の宗教を意識していますか？ 1. いつも意識している 2. たまに意識する 3. ほとんど意識しない 4. 全く意識しない 5. 分からない	
Q120	職場で現地の人々と仕事する際、相手の宗教を意識していますか？ 1. いつも意識している 2. たまに意識する 3. ほとんど意識しない 4. 全く意識しない 5. 分からない	
Q121	（中東の住民の多くはイスラム教徒です。） 現地のイスラム教徒と接するとき、イスラムの宗派（スンナ、シーアなど）の違いを意識することはありますか？ 1. いつも意識している 2. たまに意識する 3. ほとんど意識しない 4. 全く意識しない 5. 分からない	
Q122	任地に来る前にイスラムに対してどのような印象をおもちでしたか？ 1. 大変良い 2. 良い 3. 悪い 4. 大変悪い 5. どちらともいえない	
Q123	任地に来た後ではイスラムに対する印象は変わりましたか？ 1. 大変良くなった 2. 良くなった 3. 悪くなった 4. 大変悪くなった 5. 変わらない	
Q124	なぜ印象が変わりましたか？（自由回答）	

II. 職場体験

[A] 勤務状況：

Q201	職場における日本人と現地出身のスタッフの人数：	
1	日本人同僚	人
2	現地出身スタッフ	人
3	その他の国出身者	人
Q202	職場での使用言語：	
	使用言語	1. 非常に頻繁に使う 2. 頻繁に使う 3. 時々使う 4. ごく稀に使う 5. 使わない
1	英語	
2	フランス語	
3	現地語（アラビア語・トルコ語・ペルシャ語等）	
4	その他（日本語以外の言語）	
Q203	職務にはすぐ慣れましたか？ 1. 非常に容易 2. 容易 3. やや困難 4. かなり困難 5. 分からない	
Q204	慣れるのに難しかったのは、特にどんな点についてでしたか？ （複数回答可、自由回答） 1. 言語 2. 仕事の速度 3. 知識・技術の落差 4. 現地の人々のメンタリティ 5. 設備・備品の不足 6. 行政当局との関係 7. 職場環境 8. 社会・宗教的習慣 9. その他（ご記入ください）	
Q205	職務への適応のためにどのような努力をしましたか？ （複数回答可、自由回答） 1. 専門知識をみがく 2. 語学力をみがく 3. 現地の日本人の先輩・同僚に相談する 4. 現地の人々や友人の協力を得る 5. 現地の文化・宗教について理解を深める 6. その他（ご記入ください）	

Q206	現地の習慣や考え方から、職務上、困ると思うことはありましたか？ (自由回答)	
Q207	職場で現地の人々との間でとまどいをもつことは、何ですか？ (複数回答可、自由回答)	
	1. 宗教・宗派意識 2. 縁故主義 3. 官僚主義 4. 時間観念 5. ジェンダー観 6. 金銭感覚 7. 衛生観念 8. 付き合い方 9. その他 (ご記入ください)	
Q208	任地での職務においてトラブルや事故に巻き込まれたことはありますか？	
		Q209
	1. ある 2. ない	どのように解決しましたか？(複数回答可) 1. 警察 2. 大使館 3. JICA を通して 4. カウンターパートを通して 5. 現地の知り合いを通して 6. その他 (ご記入ください)
1	就業中の交通事故	
2	職場での盗難	
3	契約に関するトラブル	
4	現地職員の雇用に関する トラブル	
5	その他 (ご記入ください)	

[B] 開発援助の成果

Q210	担当した開発援助は、意義のあるものと思いますか？ 1. 大いにそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 全然思わない 5. 分からない
Q211	開発援助の成果は、当初の予想通りですか？ 1. 予想以上の成果 2. 予想通りの成果 3. あまり成果なし 4. 失敗 5. 分からない

Q212	<p>成果を上げられた場合、その理由は何だと思いますか？ (複数回答可、自由回答)</p> <p>1. 現地のニーズとの整合 2. 周到な準備調査 3. 現地行政機関との連携 4. 国際機関との連携 5. 現地NGOとの連携 6. 適正技術・中間技術 7. 現地の在来技術の応用 8. 現地の人々との信頼関係 9. 十分な資金と物資調達 10. 既存の住民組織の活用 11. 住民の積極的参加 12. 援助に携わる者の専門性・努力 13. その他 (ご記入ください)</p>	
Q213	<p>仕事の成果を十分に上げられなかった場合、その理由は何だと思いますか？ (複数回答可、自由回答)</p> <p>1. 現地のニーズとのミスマッチ 2. 計画ミス 3. 現地行政との連携不足 4. 国際機関との連携不足 5. 現地NGOとの連携不足 6. 現地社会の理解不足 7. 現地の人との信頼関係 8. 言語交渉力不足 9. 専門能力不足 10. 資金・物資不足 11. 現地側の人材不足 12. 治安の悪さ 13. その他 (ご記入ください)</p>	
Q214	開発援助の現場でどの利害関係者や機関との連携が最も難しいですか？	
		<p>最も難しい相手・機関を3つあげてください (難しい順に番号を振ってください)</p> <p>1 現地行政機関の役人</p> <p>2 職場の現地スタッフ</p> <p>3 現地の一般住民の男性</p> <p>4 現地の一般住民の女性</p> <p>5 現地の政治的リーダー</p> <p>6 現地の宗教的リーダー</p> <p>7 職場の日本人同僚</p> <p>8 現地の日本大使館</p> <p>9 JICA 関係者</p> <p>10 現地のその他の日本人</p> <p>11 現地の国際機関</p> <p>12 現地のNGO</p> <p>13 現地の研究機関</p> <p>14 その他 (具体的にご記入ください)</p>

[C] 今後の開発事業

Q215	援助事業を通じて日本と赴任国との理解が深められると思いますか？ 1. 大いにそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 全然思わない 5. 分からない	
Q216	現場で開発事業に携わる上で、何が重要だと思えますか？	
		最も重要だと思うものを3つあげてください (優先する順に番号を振ってください)
1	専門知識・技術	
2	語学力	
3	赴任国に関する予備知識	
4	効率的な予算配分	
5	プロジェクト予算の確保	
6	プロジェクトの人材確保	
7	異文化コミュニケーション能力	
8	日本の各省庁との連携	
9	現地政府との意思疎通・連携	
10	日本と現地の市民団体との連携	
11	国際機関との連携	
12	その他(具体的にご記入ください)	
Q217	職務遂行の上で、中東地域研究者と関わりをもつことはありましたか？ 1. 大いにあった 2. あった 3. あまりなかった 4. 全然なかった	
Q218	中東地域研究者と開発援助の分野(評価も含む)で連携する必要があると感じますか？ 1. 大いに感じる 2. ある程度感じる 3. あまり感じない 4. まったく感じない 5. 分からない	
Q219	連携した経験のある場合、彼らの協力や助言は役立ちましたか？ 1. 大いにそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 全然思わない 5. 分からない	
Q220	中東地域研究者に、開発援助者として期待し希望することは何ですか？ (複数回答可、自由記述) 1. より一般向けの知識・情報の提供 2. 実践的な知識・情報の提供 3. その他 (ご記入ください) 4. 期待しない	

引き続き、次頁の基本情報の記入をよろしくおねがいします

III. 基本情報 （ 回答者経歴 ）

Q301	性別： 1. 男 2. 女	
Q302-1	開発援助に携わった年数： JICA 職員としての勤務年数	通算 年
Q302-2	専門家、コンサルタント、ボランティア等で活動した通算年数	通算 年
Q302-3		合計 年
Q303	赴任国での雇用形態： 1. JICA 職員 2. 専門家 3. 青年海外協力隊員 4. シニアボランティア 5. コンサルタント 6. その他（ご記入ください）	
Q304	業務分野： （ご記入ください）	
Q305	任地における滞在年数：	年 ヶ月
Q306	海外滞在国名（最低1年以上の滞在）と滞在期間：	
	国名	滞在期間
1		年 ~ 年
2		年 ~ 年
3		年 ~ 年
4		年 ~ 年
5		年 ~ 年
Q308	結婚： 1. 既婚 2. 未婚・その他	
Q309	（既婚の方へ） 配偶者の方の国籍はどちらですか？ 1. 日本国籍 2. 現地の国籍 3. その他の外国籍	
Q310	（既婚の方にお伺いします） ご家族は任地に一緒にお住まいですか？ 1. 単身赴任 2. 配偶者を同伴 3. 配偶者と子供を同伴	

Q311	<p>(既婚で単身赴任の方にお伺いします)</p> <p>単身赴任なされた最も大きな理由は：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供の学校教育 2. 治安などの現地の生活に関する不安 3. 子供・配偶者などの家族の都合上 4. 滞在期間が短いため 5. その他 	
Q312	<p>(お子さまを任地にご同伴なされた方にお伺いします)</p> <p>子供の学校教育：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. International School 2. 現地の日本人学校 3. 現地の学校 4. 学童年齢以下 5. その他 	
Q313	<p>現住国名：(ご記入ください)</p>	
Q314	<p>現住地：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 首都 2. その他(ご記入ください) 	

差しさわりがなければ、以下の質問にお答えください

Q315	<p>年 齢：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 20-29 歳 2. 30-39 歳 3. 40-49 歳 4. 50-59 歳 5. 60 歳以上 	
Q316	<p>学 歴：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学卒 2. 高校卒 3. 専門学校・短大・大学・大学院卒 	

ご協力どうもありがとうございました